



スーツの着こなし方を学んだ講座(秋田職業能力開発短期大学校)

# 第一印象は見た目から

秋田職業能力開発短期大学校  
大 スーツの着こなし講座

スーツの正しい着こなし方(英校長)で開かれた。同校の学ぶ講座が30日、秋田職業能力開発短期大学校(中村雅)し、社会人としてのマナーを

学んだ。

社会人としての身だしなみを整え、就職活動などに役立ててもらおうと初めて企画。

紳士服大手のはるやま商事大館店の戒能靖之店長を講師に迎えた。

戒能店長は「第一印象は見た目で判断される可能性が大きい。TPO(時間、場所、場合)に合わせた見た目が大事」と強調。好印象を与えるスーツの着こなし方に▽サイジング▽ゾーン▽小物を挙げ、理想的な着用方法を説明した。

中でも男性のネクタイは「ブルーのストライプが就職活動で人気。青色は日本人の肌に一番似合う色」とし、基本的な結び方「プレーンノット」の手本を見せて回った。

学生らは苦戦しながらも、アドバイスを受けながら懸命に結んでいた。佐藤龍太さん(19)は「今のうちに慣れておこうと思っ参加した。ネクタイを結ぶのは難しかったが、常識のある大人を目指したい」と笑顔を見せた。